

製品名: ATP1B1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85324**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 45-55 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP1B1
別名	Adenosinetriphosphatase; ATP1B; ATP1B1; Atpb 1; ATPBS
遺伝子 ID	481.0
SwissProt ID	P05026
免疫原	ヒト ATP1B1 の合成ペプチド

背景

これは活性酵素の非触媒成分であり、ATP の加水分解と細胞膜を介した Na(+)および K(+)イオンの交換を触媒します。β サブユニッ

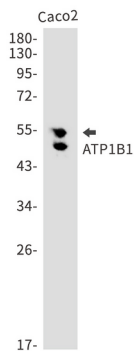
トは、 α/β ヘテロ二量体の集合を介して、細胞膜へ輸送されるナトリウムポンプの数を制御します。

研究分野

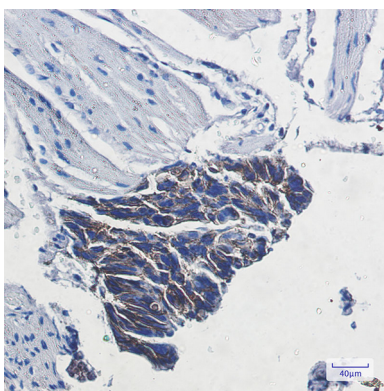
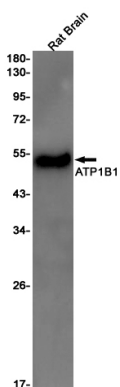
-

画像データ

ATP1B1 抗体を使用した Caco2 溶解物中の ATP1B1 のウエスタンブロット分析。



ATP1B1 抗体を使用したラット脳溶解物中の ATP1B1 のウエスタンブロット分析。



ATP1B1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。